

2019年6月3日

各 位

会社名 株式会社日本ハウス
 ホールディングス
 代表者名 代表取締役会長 成田 和幸
 (コード:1873 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役 河瀬 弘一
 T E L (03) 5215-9907

2019年10月期第2四半期(累計)業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2018年12月20日に公表しました2019年10月期第2四半期(累計)(2018年11月1日～2019年4月30日)の業績予想値と本日開示の決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第2四半期(累計)業績予想との差異について

(1) 2019年10月期第2四半期 連結(2018年11月1日～2019年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,500	△300	△350	△350	△7.63
今回発表実績(B)	18,562	△482	△550	△559	△12.20
増減額(B-A)	1,062	△182	△200	△209	
増減率(%)	6.07%	—	—	—	
[ご参考] 前第2四半期実績 (2018年10月期第2四半期)	16,990	△509	△647	△710	△15.49

(2) 2019年10月期第2四半期 個別(2018年11月1日～2019年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,000	△300	△350	△380	△8.28
今回発表実績(B)	16,216	△508	△567	△596	△13.01
増減額(B-A)	1,216	△208	△217	△216	
増減率(%)	8.11%	—	—	—	
[ご参考] 前第2四半期実績 (2018年10月期第2四半期)	14,190	△391	△510	△539	△11.75

2. 差異発生理由

当第2四半期(累計)連結業績につきましては、当社グループの中核事業である住宅事業において、施工体制の整備により工事の進捗が順調なことから完成工事高が増加し、売上高が業績予想を上回る結果となりました。

他方、住宅事業において、原価率が比較的高い建売住宅等の販売用不動産売上の売上全体に占める割合が増加したこと及びホテル事業における、シティホテルの婚礼件数やリゾートホテルの客数減少による売上高減少等により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が業績予想を下回る結果となりました。

個別業績につきましても、上記の差異発生理由と同様の理由により、売上高は増加しましたが、営業利益、経常利益及び四半期純利益が業績予想を下回る結果となりました。

なお、2019年10月期の連結及び個別の通期業績予想につきましては、住宅事業において、上記の通り工事の進捗が順調なこと等により、売上高及び営業利益が当初予想を上回る見込みですが、一方で、この増加額と同程度、ホテル事業の売上高及び営業利益が当初予想より減少する見込みのため、前回公表のとおりといたします。前期(2018年10月期)は親会社株主に帰属する当期純利益がホテル事業等において減損損失を計上したこと等により大幅に悪化しましたが、今期においては前期比大幅に改善する見込となります。

今後の業績の推移に応じて、修正が必要であると判断した場合には、速やかに公表いたします。

また、2018年12月20日に公表いたしました、1株当たりの配当金につきましても、現時点において変更はございません。

以上